【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和2年4月30日(2020.4.30)

【公開番号】特開2019-194740(P2019-194740A)
【公開日】令和1年11月7日(2019.11.7)
【年通号数】公開・登録公報2019-045
【出願番号】特願2019-144420(P2019-144420)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　3/34　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　3/34　Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６１１Ｅ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２１Ｂ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２２Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２２Ｄ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２３Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２３Ｄ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４１Ａ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６１２Ｊ

【手続補正書】
【提出日】令和2年3月19日(2020.3.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の画素を有する電気光学ディスプレイを駆動する方法であって、前記複数の画素の全てが、全体的完全駆動スキームで駆動され、前記全体的完全駆動スキームは、前記電気光学ディスプレイの前記画素を少なくとも２つのグループにグループ化することによって達成され、前記少なくとも２つのグループは、第１のグループおよび第２のグループを含み、第１の駆動スキームが前記第１のグループに対して使用され、第２の駆動スキームが前記第２のグループに対して使用され、前記第１の駆動スキームおよび前記第２の駆動スキームは、少なくとも１つの遷移について、光学状態間の同一の白色－白色遷移を経る異なるグループ内の画素が同一の波形を受けないように、相互に異なっており、前記同一の白色－白色遷移を受ける前記画素は、均衡パルス対波形を使用して駆動され、前記均衡パルス対波形は、等しいインパルスであるが反対極性の２つの矩形電圧パルスを備え、一方のクラスの画素に対する前記波形は、他方のクラスの画素に対して単一のパルスの持続時間だけ遅延させられ、前記画素をグループ化することは、画像更新間で調整される、方法。
【請求項２】
複数の画素を有する電気光学ディスプレイを駆動する方法であって、前記複数の画素の全てが、全体的完全駆動スキームで駆動され、前記全体的完全駆動スキームは、前記電気光学ディスプレイの前記画素を少なくとも２つのグループにグループ化することによって達成され、前記少なくとも２つのグループは、第１のグループおよび第２のグループを含み、第１の駆動スキームが前記第１のグループに対して使用され、第２の駆動スキームが

前記第２のグループに対して使用され、前記第１の駆動スキームおよび前記第２の駆動スキームは、少なくとも１つの遷移について、光学状態間の同一の遷移を伴う異なるグループ内の画素が同一の波形を受けないように、相互に異なっており、

前記少なくとも１つの遷移は、少なくとも１つの中間グレー－中間グレー遷移を備え、２つの中間グレーレベルは、同一であってもよく、または、異なってもよく、２つの異なる単一レールバウンス波形が、この遷移を受ける異なる画素のグループに対して使用され、一方の波形が、前記画素を中間グレーレベルから白色に駆動し、中間グレーに戻す一方で、他方の波形が、前記画素を前記中間グレーレベルから黒色に駆動し、次いで、中間グレーに戻し、前記画素をグループ化することは、画像更新間で調整される、方法。

【請求項３】

前記全体的完全駆動スキームを使用した連続する画像更新間で、前記電気光学ディスプレイの前記画素が、異なるグループに分割され、かつ／または、異なるグループ内の画素に印加される異なる波形が、調整される、請求項１または２に記載の方法。

【請求項４】

少なくとも１つの一過性のモノクロ画像を更新中に表示することをさらに含む、請求項１または２に記載の方法。

【請求項５】

前記少なくとも１つの一過性のモノクロ画像は、少なくとも１つのモノクロチェッカー盤、会社ロゴ、ストライプ、時計、ページ数、または、エッシャープリントを備える、請求項４に記載の方法。

【請求項６】

前記画素は、チェッカー盤格子上で２つのグループに分割され、一方のパリティの画素は、第１のクラスに割り当てられ、他方のパリティの画素は、第２のクラスに割り当てられ、白色－白色遷移を受ける前記画素は、中間点で前記画素を黒色に駆動する波形によって駆動され、前記第１のクラスおよび前記第２のクラスに割り当てられる前記画素の白色－白色遷移を駆動する波形は、これら２つのクラスが決して同時に黒色状態にはないように、時間においてオフセットされるように選択される、請求項１に記載の方法。